

整理された市の課題と 解決に向けた議論

1. 資料2で14のテーマに分類された課題の統合を行い、4つの課題として整理した。
2. 整理された4つの課題ごとに、市や地域包括支援センター等が行っている解決に向けた既存の取組みを記載した。
3. 今後必要な取組みは、資料2に記載されているものに加え、想定されるものを追加した。

整理した市の課題と解決に向けて-1

整理された課題	関連するテーマ	既存の取組み	今後必要な取組み
<p>1. 生活の困りごとの解決</p> <p>①買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ADL低下により、買い物に行けない人がいる ・買い物手段の選択肢が少ない <p>②ごみ出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ADL低下や認知症によるごみ出し困難 ・ごみ出し困難からごみをため込んでしまう(ごみ屋敷の要因の一つ) <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電球交換や水回りのトラブル等、身の回りの簡易な困りごと 	<p>0.新興感染症（新型コロナウイルス感染症）</p> <p>1.認知症</p> <p>2.介護予防</p> <p>6.生活支援</p> <p>9.見守り</p>	<p>①買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動スーパーの誘致 ・移動販売やネットスーパーなどの周知 ・移動支援の研修会を実施（矢切2層） <p>②ごみ出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ訪問収集事業 <p>①②③共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの簡易な困りごとに対して近所で助け合える仕組みづくりの検討（小金原2層） 	<p>①買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区診断や移動スーパーの対象範囲などから、買い物困難地域の把握⇒企業への働きかけ等 ・ネットスーパーの利用促進 <p>②ごみ出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出し困難世帯の早期把握 <p>①②③共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険以外の簡易な困りごとに対するサービス ・住民互助によるボランティア

整理した市の課題と解決に向けて-2

整理された課題	関連するテーマ	既存の取組み	今後必要な取組み
<p>2. 早期発見・早期介入</p> <p>①実態把握・早期介入が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8050世帯や認知症等の問題を抱えた世帯の実態が分からない ・8050世帯や認知症などの問題を抱えた世帯が発見できない ・8050世帯や認知症等の世帯への介入方法が分からない <p>②早期発見、適切な対応力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題が複雑・重度化してしまう ・地域でのつながりや知識不足により、周囲や支援者による発見の遅れ、適切な対応ができていない 	<p>1.認知症</p> <p>3.多分野共生</p> <p>6.生活支援</p> <p>8.居場所づくり</p> <p>9.見守り</p> <p>11.医療介護連携</p>	<p>①実態把握・早期介入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業におけるアンケートの実施 ・フレイル予防事業でのハイリスクアプローチ(健康状態不明者や低栄養者など) ・認知症サポーター養成講座の実施 ・市と民間事業者等との見守り協定 ・転入者への町会加入の声かけ ・早期介入につながる取組み(ケア会議ニュース 馬橋西) <p>②助けを求めるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター等の相談窓口の周知 ・出張包括 	<p>①実態把握・早期介入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認のシステム化 ・認知症や問題を抱えた世帯の特徴や早期発見のための視点を把握・整理する。 ⇒住民アンケートを実施し状態把握を行う ⇒住民に見るべき視点を知ってもらう機会をつくり、相談に繋げる(見守りの目の育成) ・地域住民を含めた多機関での見守りネットワークの構築 <p>②助けを求めるための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8050世帯や認知症についての正しい理解 ・周囲や支援者による早期の気づきと適切な対応のための普及啓発

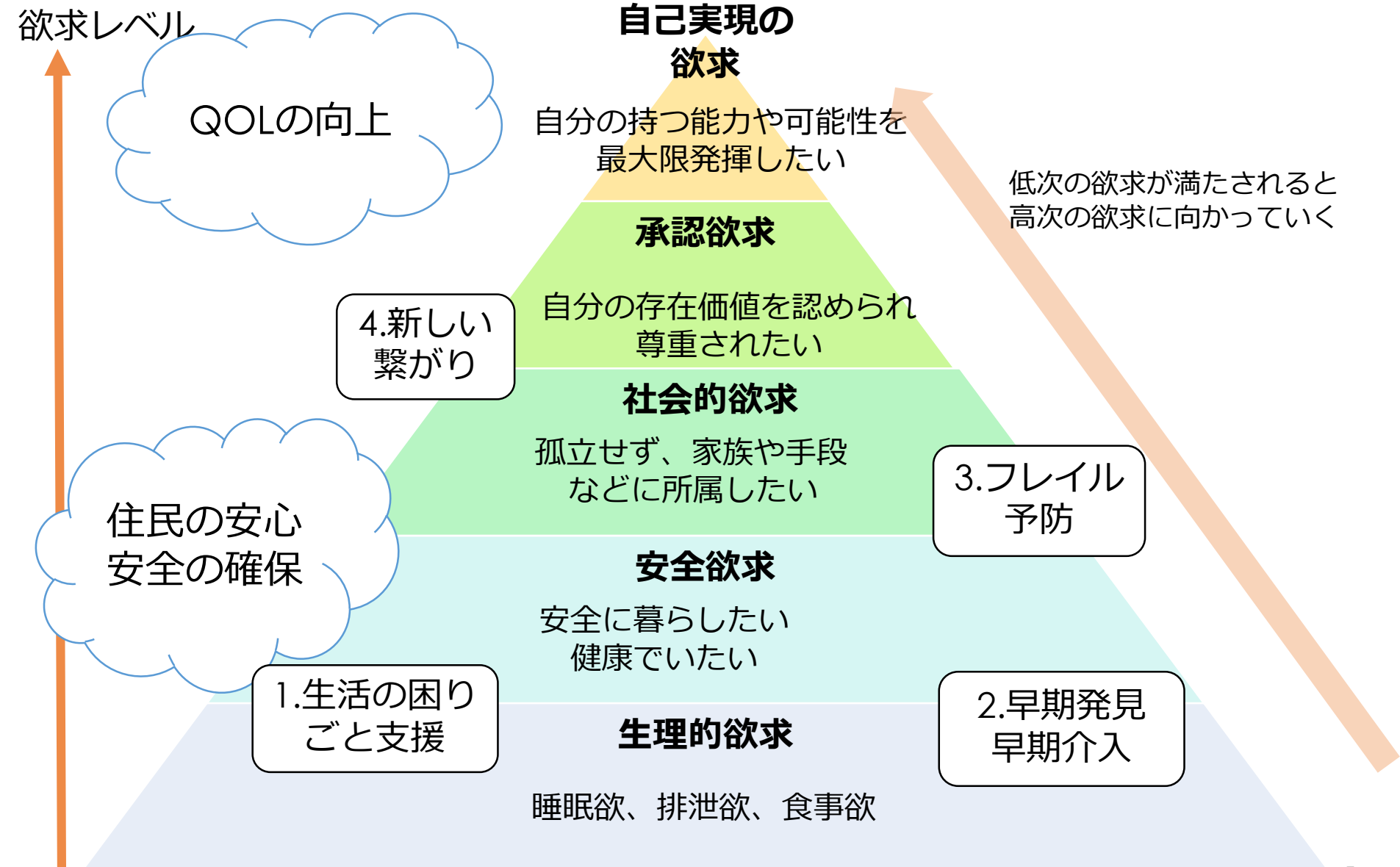
整理した市の課題と解決に向けて-3

整理された課題	関連するテーマ	既存の取組み	今後必要な取組み
<p>3.コロナ禍でのフレイル予防</p> <p>①社会的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との交流控え ・閉じこもりや孤立から、情報弱者 <p>②身体的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出控えやデイサービス、スポーツクラブの使用不可等による筋力低下 <p>③精神・心理的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流減少から抑うつ傾向 ・交流減少から認知機能低下 ・抑うつ傾向・孤食などを要因に食事摂取量・質の低下 	<p>0.新興感染症（新型コロナウイルス）</p> <p>2.介護予防</p> <p>3.多分野共生</p> <p>8.居場所づくり</p> <p>9.見守り</p> <p>11.医療介護連携</p>	<p>①社会的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインサロンの実施(明1) ・地域で取り組まれている活動についてYouTube動画での周知（小金2層） <p>②身体的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市リハビリテーション連絡会の協力のもと体操DVDを作成、配布 ・フレイルを予防する運動を広報まつどに掲載 ・出張包括によるラジオ体操（五香松飛台・常盤平団地）やウォーキングの実施（明2東・常盤平五香・松飛台） ・オンラインでの体操教室、認知症予防教室、介護者のつどい等の開催（新松戸） <p>③精神・心理的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインや屋外で集いの場を実施・脳トレクラブ(常盤平) ・コンビニでの食事の買い方についての普及啓発(常盤平・常盤平団地) <p>①②③共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所連絡通路や出張相談での予防啓発 	<p>①社会的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族に必要な情報の提供（正しい感染予防策やフレイル予防の啓発、地域での活動） ・オンラインサロンの推進 <p>②身体的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅でできる介護予防の取組み（セルフケア）の啓発と継続への支援 ・屋外やオンラインでの体操教室等の開催 <p>③精神・心理的フレイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを保つための支援 ・新型コロナウイルスと認知症や認知機能低下（BPSD）にも対応できる医療体制の整備

整理した市の課題と解決に向けて-4

整理された課題	関連するテーマ	既存の取組み	今後必要な取組み
<p>4.コロナ禍での新たな繋がり</p> <p>①オンライン関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン環境やデバイスがない ・オンラインの技術がない ・オンラインサロンの主催者がいない ・使い方を教えてくれる人がいない ・必要な情報へのアクセスができない <p>②オンライン以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外で行えるつどいの場が近い距離にない ・日頃からつながりがない 	<p>0.新興感染症（新型コロナウイルス）</p> <p>2.介護予防</p> <p>3.多分野共生</p> <p>8.居場所づくり</p> <p>9.見守り</p> <p>11.医療介護連携</p>	<p>①オンラインの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・wifi環境の整備・オンライン講習会でのデバイスの貸出 ・オンライン講習会（明2西） ・オンライン元気応援くらぶへの助成 ・地域で取り組まれている活動についてYouTube動画での周知（小金2層） <p>②オンライン以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動や情報を伝える手紙（明1・常盤平団地2層）や電話などでの見守り ・屋外体操教室やウォーキングイベント（東部・五香松飛台・六実六高台・新松 戸） ・認知症カフェの感染対策を講じた交流や屋外（畑）活動への移行 ・多世代食堂の検討（馬橋2層） 	<p>①オンラインの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講習会などの周知 ・デバイスの使い方や情報へのアクセス方法を教えてくれるボランティアの創出、人材発掘 ・有益な情報の発信 <p>②オンライン以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外活動の通いの場の創出

マズローの欲求段階と整理された課題



ご意見いただききたいこと

課題1 生活上の困りごとの解決

支え合いで生活の困りごとを解決していくことを最終目標とし、これまで地域で検討されてきたことを実施・アップデートしていく必要がある。

1-1.2層ワーキング(小金原)について紹介

1-2.ご自身(団体)の立場で、課題1に対する目標や取組みについて教えてください。

課題2 早期発見・早期介入

地域住民が問題を抱える世帯について関心を持ち、日常生活の中で見守り、早期に支援機関への相談に繋げていくことが必要である。

2-1.問題を抱える世帯に気づくための見るべき視点、問題を抱える人・世帯に出会った時の対応方法について教えてください。

2-2.ご自身(団体)の立場でどのような取り組みができそうですか。

コロナ禍において外出自粛や人との交流が制限されることによる健康二次被害が大きい。オンラインの普及等により、フレイルの進行やつながりの不足を解消することが必要である。

3-1. コロナ禍でのフレイル予防やつながりづくりの取組みについて教えてください。

3-2. オンラインの普及についてのご意見を教えてください。